

船舶事故等調査報告書

平成22年7月29日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010長第32号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年3月13日 04時30分ごろ	
発生場所	長崎県平戸瀬戸 平戸市広瀬導流提灯台から真方位166°390m付近 (概位 北緯33°22.63′ 東経129°34.13′)	
事故等調査の経過	平成22年3月16日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 ^{かいしやう}海翔丸、499トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 134914、不二海運株式会社、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構（船舶所有者）、春山海運株式会社（船舶借入人）</p>	
乗組員等に関する情報	船長、三級海技士（航海） 一等航海士、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	左舷船底部に破口を伴う擦過傷及び凹損、右舷船底部に破口を伴う擦過傷、船首バルバスバウに凹損を伴う擦過傷	
事故等の経過	<p>本船は、船長及び一等航海士ほか3人が乗り組み、平戸瀬戸を真方位023°10.5ノットで北進中、一等航海士が平戸牛ヶ首灯台を広瀬導流提灯台と誤認したまま手動操舵で航行し、平成22年3月13日04時30分ごろ、牛ヶ首の浅瀬に乗り揚げた。</p> <p>本船は、船首部タンクに浸水があったものの自力離礁した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 小雨、風向 なし、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 上げ潮中央期</p>	
その他の事項	レーダー、GPSともに作動していた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、平戸瀬戸を北進中、水路調査を適切に行わず、また、レーダーやGPSで船位の確認を行っていなかったものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、夜間、本船が平戸瀬戸を北進中、水路調査を行わず、また、船位の確認を行っていなかったため、平戸牛ヶ首灯台を操船目標としていた広瀬導流提灯台と誤認して航行し、浅瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>	